

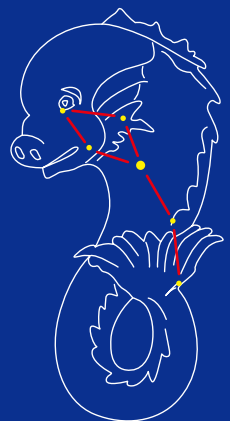


大きなプロミネンスは地球にも影響をあたえます。

星座の物語 ～夏の星々～

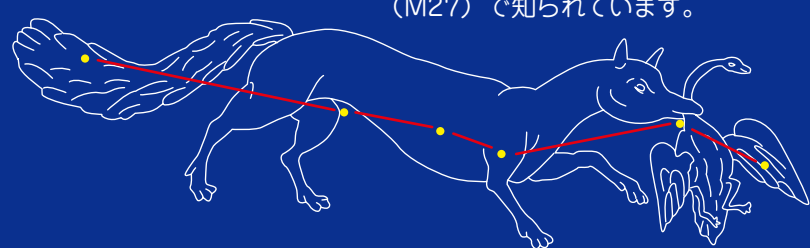
天の川を挟んで、七夕で有名な織り姫星（ペガ）と彦星（アルタイル）、そしてはくちょう座のデネブで作られる大きな「夏の
大三角」は、夏の夜空の目印です。星座には四季を通して生き物の名前が多く見られ、身近だったり珍しかったり、神話に
登場するなど、人々が星空を身近に感じてきたことがわかります。生き物の星座をいくつか紹介しましょう。

いるか座



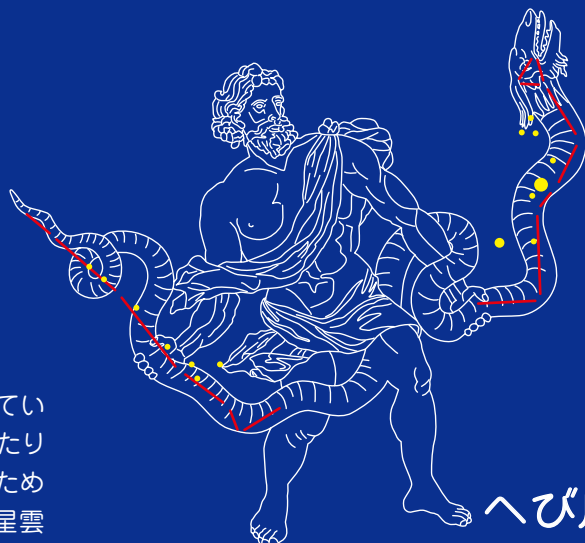
雄大な星座が多い夏の夜空ですが、かわいらしい星座も見つかります。いるか座は、夏の
大三角の一角、アル
タイルのそばにあり
ます。ギリシャ神
話では神や音楽家
を助ける賢いいる
かとして語られて
います。

こぎつね座



星座絵ではがちょうをくわえてい
ます。夏の
大三角の真ん中あた
りにありますが、暗
い星が多いため
あまり目立ちませ
ん。垂鈴状星雲
(M27) で知られて
います。

へび座



へびつかい座とほぼ一体化した星座です。へびつかい座のモデルは医術の神エスク
レピオス。彼の神話が語られる一方、へ
びそのものの神話はあまり伝わっていま
せん。へびつかい座とともに、プトレマイ
オスが定めた最古の星座のひとつです。

2025 年 夏の天文イベント

8月13日 ペルセウス座流星群（流れ星の集まり）

今年のペルセウス座流星群は、月明かりの影響で観察条件
は厳しいです。流星は雲があっても空が明るくても流れていま
す。昔は FM 放送の電波で観測できましたが、FMのデジタル
化でこの方法も使えなくなりました。技術の進歩とともに、少
しだけ星を感じる機会が減ってしまったかもしれませんね。

8月29日 伝統的七夕（旧暦七夕）

今年は 8 月 29 日が伝統的七夕です。現在の 7 月 7 日は梅
雨の真っ最中ですが、伝統的七夕の頃は夏空が広がること
が多く、星を楽しむのにぴったりの季節です。

9月8日 皆既月食

9 月 7 日深夜から 8 日未明にかけて皆既月食が始まります。
我孫子では1時半頃から月が欠け始め、2時半頃には完全に地
球の影に入ります。その後1時間半ほど皆既が続き、月は赤銅
色に染まって輝きます。4 時前には皆既も終わり、普段の明る
さに戻ります。

9月頃から 土星が見頃

この時期の土星は、日が沈む頃に東の空に昇り、南を通っ
て西の空へ移動しながら一晩中観察できます。惑星は恒星の
ようにキラキラと瞬かず、安定した光で輝いて見えるので、す
ぐに見分けられます。

星空ギャラリー

水の館プラネタリウムの入り口奥にある
番組テーマに沿った展示スペースです

「星の雑学コーナー」

宇宙にはたくさんの星があり、それぞれ個性があります。
太陽や月、星座の物語、ちょっとした豆知識などを紹介
しています。自由研究にも役立つかもしれませんよ。

展示構成：株式会社きら



東

北

西

南

星空紹介コーナーの星座は※マークが付いています。

2025年8月中旬 21 時頃
東京の星空

国立天文台

天文 ニュース

太陽活動が活発化

太陽は約 11 年周期で活動期を迎えます。今年はその活動の最盛期にあたります。活動が活発
になると、北海道でオーロラが見られることもあります。人工衛星や電子機器に不具合を起こす
可能性もあります。NASA や日本の研究機関も「宇宙天気」と呼んで、太陽活動の様子をインター
ネットなどで公開しています。

星空ミニクイズ

天の川は春夏秋冬すべての季節で見ることが
できますが、どの季節が一番明るく見えるで
しょうか？

①春 ②夏 ③秋 ④冬

答えは水の館プラネタリウム
入り口付近にあります

今号のスタンプ

スタンプは水の館プラネタリウム前にあります。